

**令和3年度  
第1回  
印西市水道事業運営審議会資料**

令和3年10月29日

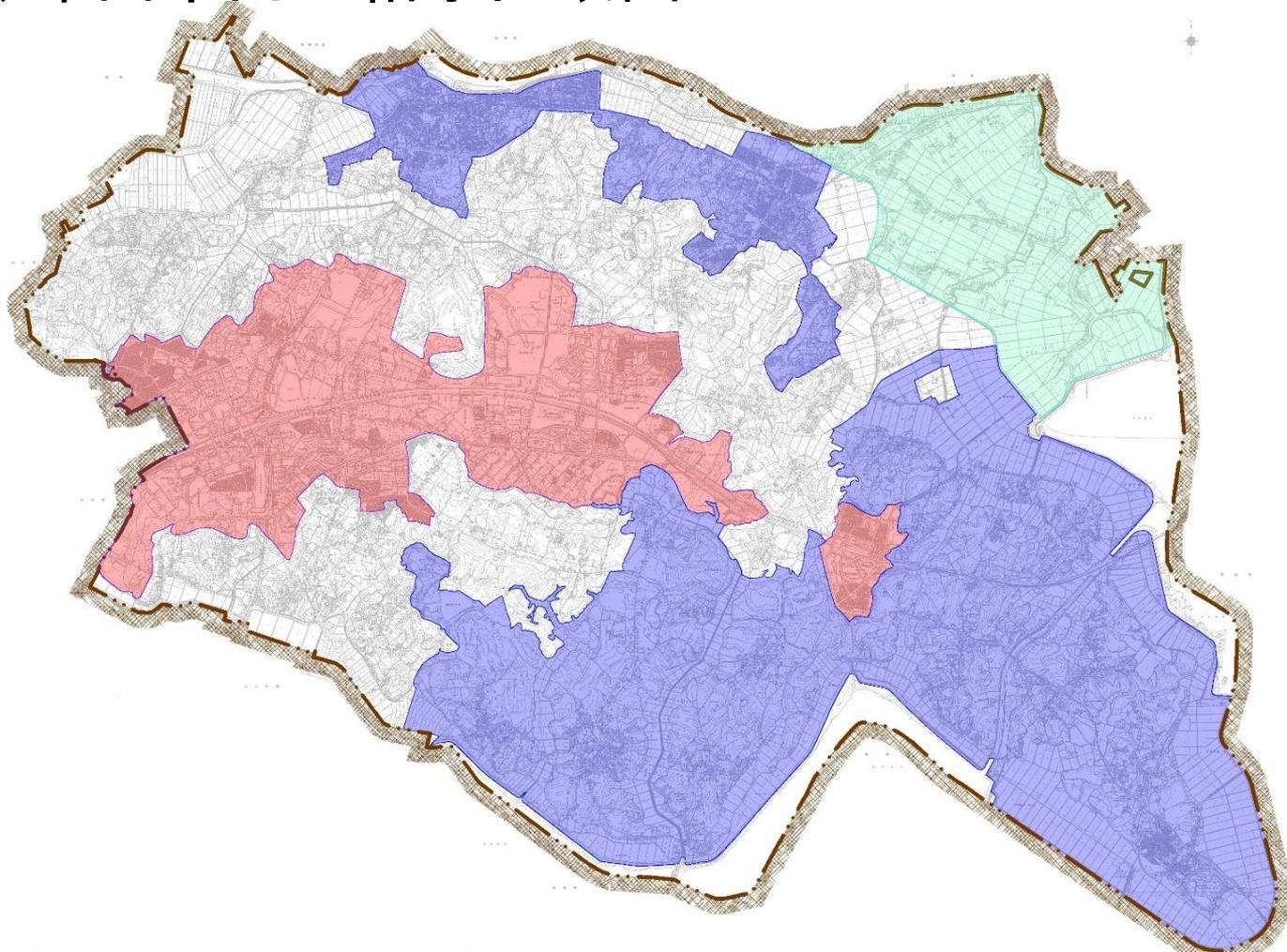
# 議案1.

印西市水道事業の現状について

# § 1 市内の給水区域と水道施設

議案1. 印西市水道事業の現状について  
§1 市内の給水区域と水道施設

1) 印西市内の給水区域図



**青色** : 市営水道

**赤色** : 県営水道  
(NT地区)

**緑色** : 長門川水道企業団  
(本埜地区の一部)

議案1. 印西市水道事業の現状について  
 § 1 市内の給水区域と水道施設

## 2) 水道事業の沿革

### 印西市水道事業の沿革

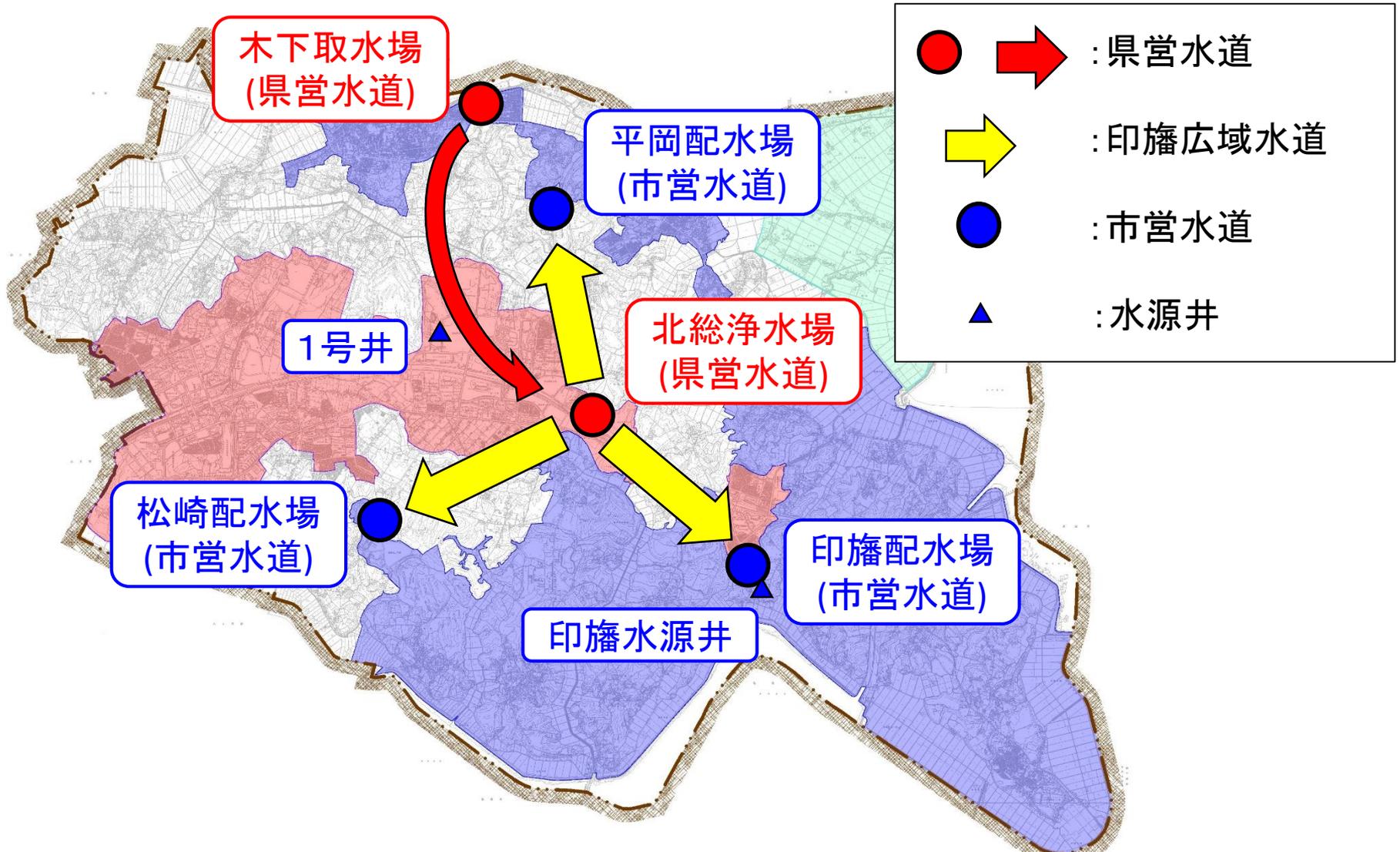
計画名称	認可 年月日	計画 目標年度	計画 給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 (m <sup>3</sup> /日)	備考
創設事業認可	S52. 3.31	S60	19,600	8,450	
給水開始	S57.10				
創設変更認可	S58. 3.31	H7	25,600	11,500	給水区域拡張 印旛広域水道の受水開始
創設変更 変更届出	H26. 3.31	H35	38,710	19,290	印旛地区と統合
創設変更 変更届出	H26.11.17	H35	38,710	19,290	給水区域の拡張
創設変更 変更届出	H27. 1.19	H35	38,710	19,290	浄水方法の変更

### 印旛地区（旧印旛村）水道事業の沿革

計画名称	認可 年月日	計画 目標年度	計画 給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 (m <sup>3</sup> /日)	備考
創設事業認可	S61. 4. 1	H7	7,731	2,630	
給水開始	S63. 4				
第1回拡張事業認可	H 9. 3.31	H22	13,110	7,790	給水量の変更 井戸の追加

議案1. 印西市水道事業の現状について  
§ 1. 市内の給水区域と水道施設

3) 市内の水道施設



議案1. 印西市水道事業の現状について  
 §1 市内の給水区域と水道施設

## 4) 施設概要

名称	位置、規模及び構造	
1号井	住所	印西市別所地先
	施工年度	昭和57年度
	主な設備	深井戸：φ300×120m 計画取水量600m <sup>3</sup> /日 取水ポンプ：φ80×0.42m <sup>3</sup> /分×66m×11kw
平岡配水場	住所	印西市別所1289-1
	施工年度	昭和55年度
	主な設備	配水池：14.7m×34.5m×5.6m×1池 容量2,565m <sup>3</sup> 配水ポンプ：φ200×φ150×4.0m <sup>3</sup> /分×35m×37kw×3台 自家発電設備：250kVA (ディーゼルエンジン)
松崎配水場	住所	印西市松崎台1-9
	施工年度	平成17年度
	主な設備	配水池：2池 容量1,043m <sup>3</sup> 配水ポンプ：φ125×1.12m <sup>3</sup> /分×39m×15kw×3台 自家発電設備：75kVA (ディーゼルエンジン)
印旛水源井	住所	印西市美瀬地先
	施工年度	昭和57年度
	主な設備	深井戸：φ150×120m 計画取水量200m <sup>3</sup> /日 取水ポンプ：φ50×0.24m <sup>3</sup> /分×60m×3.7kw
印旛配水場	住所	印西市美瀬1-17
	施工年度	昭和61年度(第1期), 平成3年度(第2期)
	主な設備	配水池：15.0m×9.0m×4.0m×2池 容量1,050m <sup>3</sup> 配水ポンプ：φ125×φ80×1.90m <sup>3</sup> /分×35m×18.5kw×3台 自家発電設備：100kVA (ディーゼルエンジン)



平岡配水場



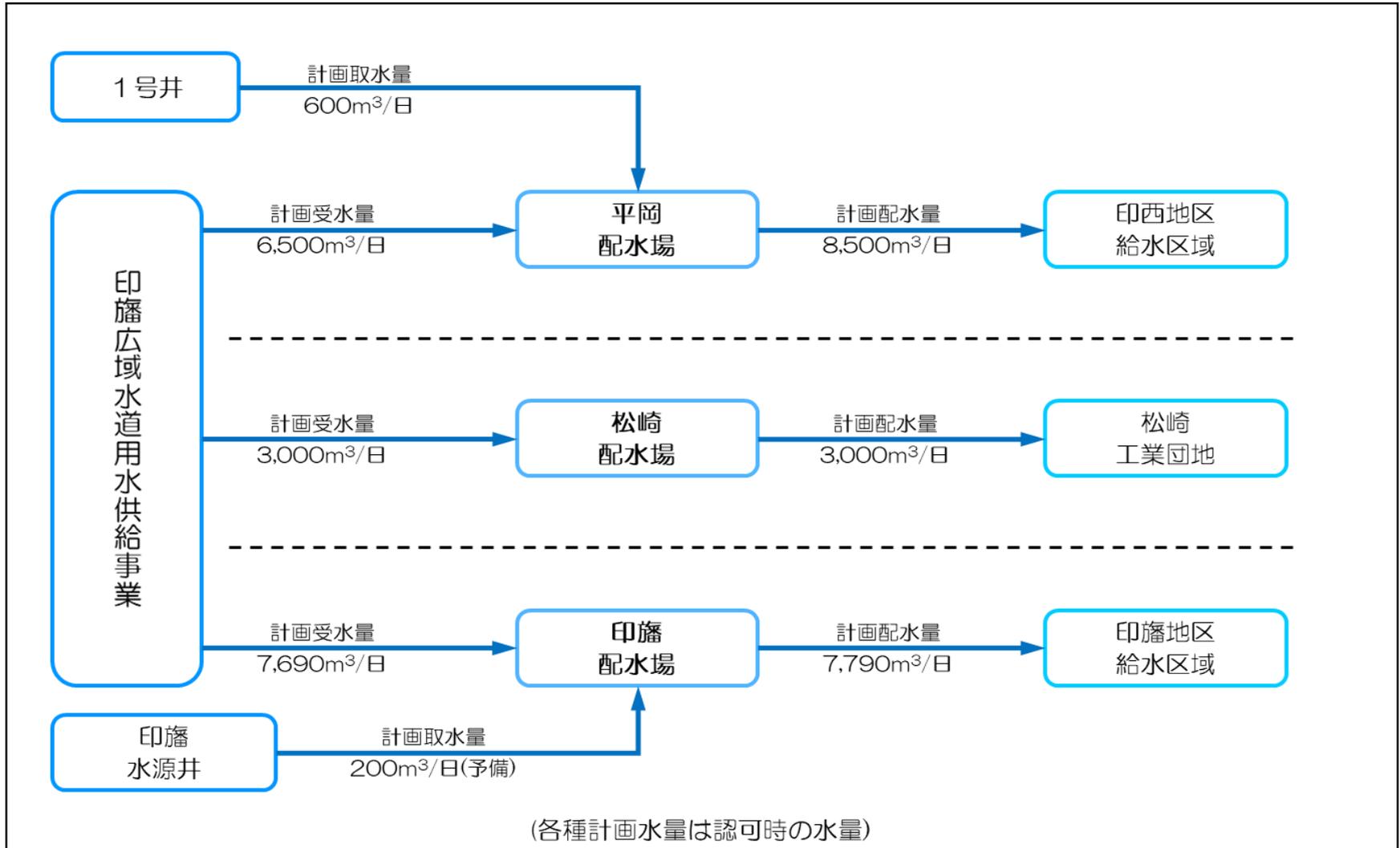
松崎配水場



印旛配水場

議案1. 印西市水道事業の現状について  
§ 1 市内の給水区域と水道施設

5) 配水フロー図



議案1. 印西市水道事業の現状について  
§ 1 市内の給水区域と水道施設

## 6) 管路調書

	布設延長 (m)	耐震性能を有する管 (m)	耐震化率 (%)	法定耐用年数 (40年)を超えた管 (m)	老朽化率 (%)
導水管	2,858	738	25.8	0	0.0
送水管	235	0	0.0	0	0.0
配水管	130,543	26,571	20.4	11,938	9.1
配水本管	2,627	0	0.0	2,627	100.0
配水支管	127,916	26,571	20.8	9,311	7.3

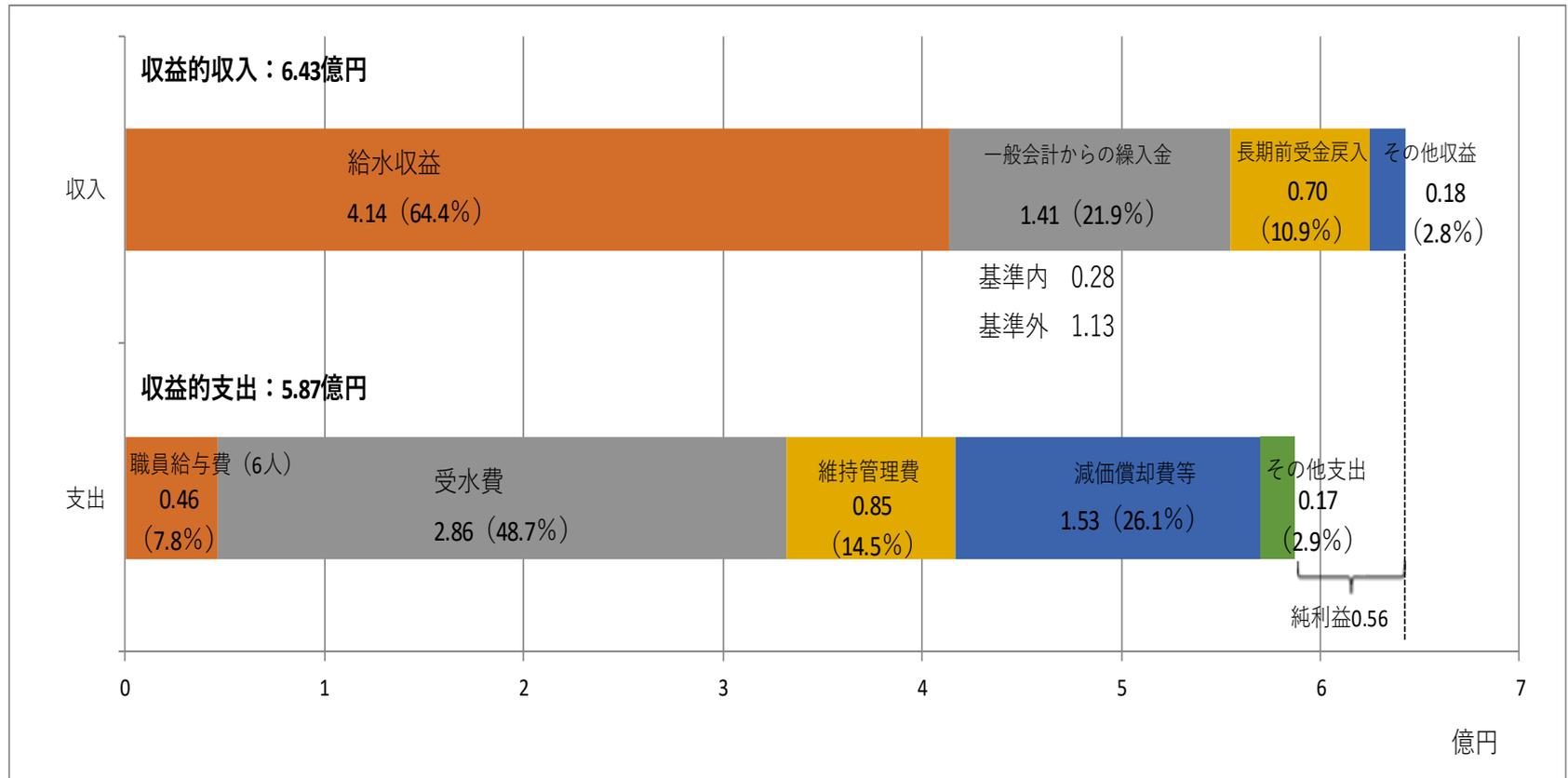
令和2年度水道統計資料より

## § 2 印西市水道事業の経営状況

# 議案1. 印西市水道事業の現状について

## §2 印西市水道事業の経営状況

### 1) 令和2年度決算の収支割合



- ・ 給水収益で回収すべき費用をすべて賄うのが理想 ⇒ 現状では、一般会計からの繰入金等があることで黒字化
- ・ 受水費 (48.7%)、職員給与費 (7.8%)、減価償却費等 (26.1%)、これらで支出全体の82.6%を占める ⇒ 経費削減が難しい

議案1. 印西市水道事業の現状について  
§2 印西市水道事業の経営状況

## 2) 経営の健全性を示す指標

指標番号	指標名	単位	印西市 R2年度	類似団体 (B6)平均	指標の説明
C103	総収支比率	%	109.56	104.04	総費用に対する総収益の割合を示す。 100%以上であることが望ましい。
C102	経常収支比率	%	109.52	103.93	経常費用に対する経常収益の割合を示す。 100%以上であることが望ましい。
C101	営業収支比率	%	71.46	89.68	営業費用に対する営業収益の割合を示す。 100%以上であれば収益的収支が黒字である。
C105	繰入金比率（収益的収入分）	%	21.98	5.81	収益的収入に対する損益勘定繰入金の割合を示す。 この値が低い方が独立採算制の原則に従っているといえる。
C108	給水収益に対する 職員給与費の割合	%	11.03	11.33	水道事業の効率性を分析するための指標。 この値は低い方がよい。
C109	給水収益に対する 企業債利息の割合	%	1.09	2.47	水道事業の効率性を分析するための指標。 この値は低い方がよい。
C110	給水収益に対する 減価償却費の割合	%	36.93	27.14	水道事業の効率性を分析するための指標。 この値は低い方がよい。
C111	給水収益に対する 建設改良のための企業債償還元金の割合	%	5.12	9.32	企業債償還金が経営に与える影響を分析するための指標。 この値は低い方がよい。
C114	供給単価	円/m <sup>3</sup>	242.80	191.76	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す。
C115	給水原価	円/m <sup>3</sup>	305.70	207.79	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを示す。
C113	料金回収率	%	79.42	92.28	給水原価に対する供給単価の割合を示す。水道事業の経営状況の健全性を示す指標。100%以下である場合、給水に係る費用が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。

※類似団体の平均は令和元年度の数値

## **議案2.**

# **経営戦略の改定について**

# § 1 経営戦略の背景と概要

## 1) 経営戦略策定が求められる背景

- ・ 人口減少社会による有収水量の減少 ⇒ 料金収入の減少
- ・ 施設の老朽化による更新需要の増加 ⇒ 投資費用の増加

収入と支出のバランスが取れなくなり  
必要な更新ができなくなる  
水道料金の安易な値上げ } **懸念**

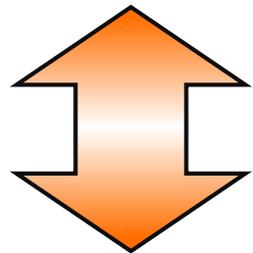
収入と支出のバランスをとる中長期的な計画が必要

**経営戦略の策定**

## 2) 経営戦略とは

中長期的にバランスのとれた投資計画と財政計画に基づいた事業運営により経営健全化を目指すための計画

投資計画：適切な更新を含めた将来の必要投資額の算定



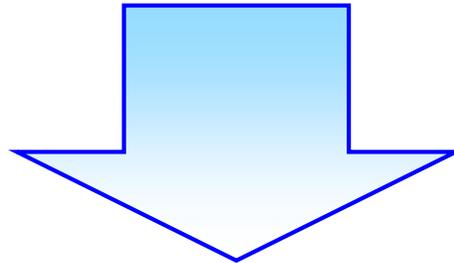
中長期的に両方のバランスをとる

財政計画：料金収入などの推計による財源の把握

### 3) 経営戦略を改定する理由

- ・ 平成26(2014)年8月の総務省通知と  
平成31(2019)年3月の  
「経営戦略策定・改定ガイドライン」より

「経営戦略」は3～5年に一度見直しを行うことが必要である。  
改定(見直し)に当たっては、「経営戦略」に基づく取組の成果を  
検証・評価し、より質の高い「経営戦略」にすること。



- ・ 印西市の経営戦略は平成29(2017)年3月に策定し、今  
年度末で5年が経過することから、経営戦略の改定が  
必要

## § 2 現経営戦略の概要

議案2. 経営戦略の改定について  
§2 現経営戦略の概要

1) 投資計画  
①年次計画表

単位:千円	工事費	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
<b>1. 平岡配水場耐震補強工事</b>	<b>414,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>32,200</b>	<b>197,000</b>	<b>185,300</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
1) 着水井築造工事	0															
2) ろ過機設置工事	0															
3) 配水池築造工事	0															
4) 配水ポンプ設備工事	61,300								61,300							
5) RC配水池耐震補強工事	321,000							197,000	124,000							
6) 調査委託費	32,200						32,200									
<b>2. 拡張配水管整備</b>	<b>361,200</b>	<b>2,900</b>	<b>31,000</b>	<b>34,600</b>	<b>50,800</b>	<b>50,800</b>	<b>53,100</b>	<b>51,100</b>	<b>43,500</b>	<b>43,400</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
1) 印西中周辺区域	0															
2) 本埜支所周辺区域	0															
3) 小林新田地区	58,000		31,000	27,000												
4) 吉田地区	286,100				50,800	50,800	50,800	46,800	43,500	43,400						
5) 設計委託費	17,100	2,900		7,600			2,300	4,300								
<b>3. 監視設備整備工事</b>	<b>107,900</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,000</b>	<b>102,900</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
1) 集中監視設備増設工事	102,900					102,900										
2) 設計委託費	5,000				5,000											
<b>4. 既設設備更新工事</b>	<b>1,011,200</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>900</b>	<b>17,900</b>	<b>23,200</b>	<b>89,800</b>	<b>31,500</b>	<b>7,700</b>	<b>154,600</b>	<b>4,500</b>	<b>90,300</b>	<b>3,700</b>	<b>73,300</b>	<b>17,300</b>	<b>346,500</b>
1) 平岡配水場設備更新工事	260,900	150,000				18,800	19,900			61,800				10,400		
2) 印旛配水場設備更新工事	279,800				17,000		68,300	31,500		92,800		70,200				
3) 松崎配水場設備更新工事	429,500											20,100		62,900		346,500
4) 設計委託費	41,000			900	900	4,400	1,600		7,700		4,500		3,700		17,300	
<b>5. その他管路工事</b>	<b>626,900</b>	<b>100,500</b>	<b>90,400</b>	<b>7,900</b>	<b>7,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>900</b>	<b>23,700</b>	<b>100,200</b>	<b>100,200</b>	<b>100,200</b>	<b>95,400</b>	<b>0</b>
1) 吉高台地区配水管更新工事	180,000	100,000	80,000													
2) 水管橋整備工事	25,000		10,000	7,500	7,500											
3) 重要給水路線配水管更新工事	381,600											95,400	95,400	95,400	95,400	
4) 配水管耐震化工事	18,900										18,900					
5) 設計委託費	21,400	500	400	400						900	4,800	4,800	4,800	4,800		
<b>総事業費</b>	<b>2,521,700</b>	<b>253,400</b>	<b>121,400</b>	<b>43,400</b>	<b>81,200</b>	<b>176,900</b>	<b>175,100</b>	<b>279,600</b>	<b>236,500</b>	<b>198,900</b>	<b>28,200</b>	<b>190,500</b>	<b>103,900</b>	<b>173,500</b>	<b>112,700</b>	<b>346,500</b>

- ・ 計画期間: 15年間(平成29～令和13年度)
- ・ 総事業費: 25億2,170万円

## 1) 投資計画

### ②施設整備内容(平岡配水場工事及び拡張配水管)

- 平岡配水場耐震補強工事

当初は既設配水池を耐震補強する方針であったが、工事内容を精査した結果、耐震性を有する配水池を新たに築造するものとした。

- 拡張配水管整備

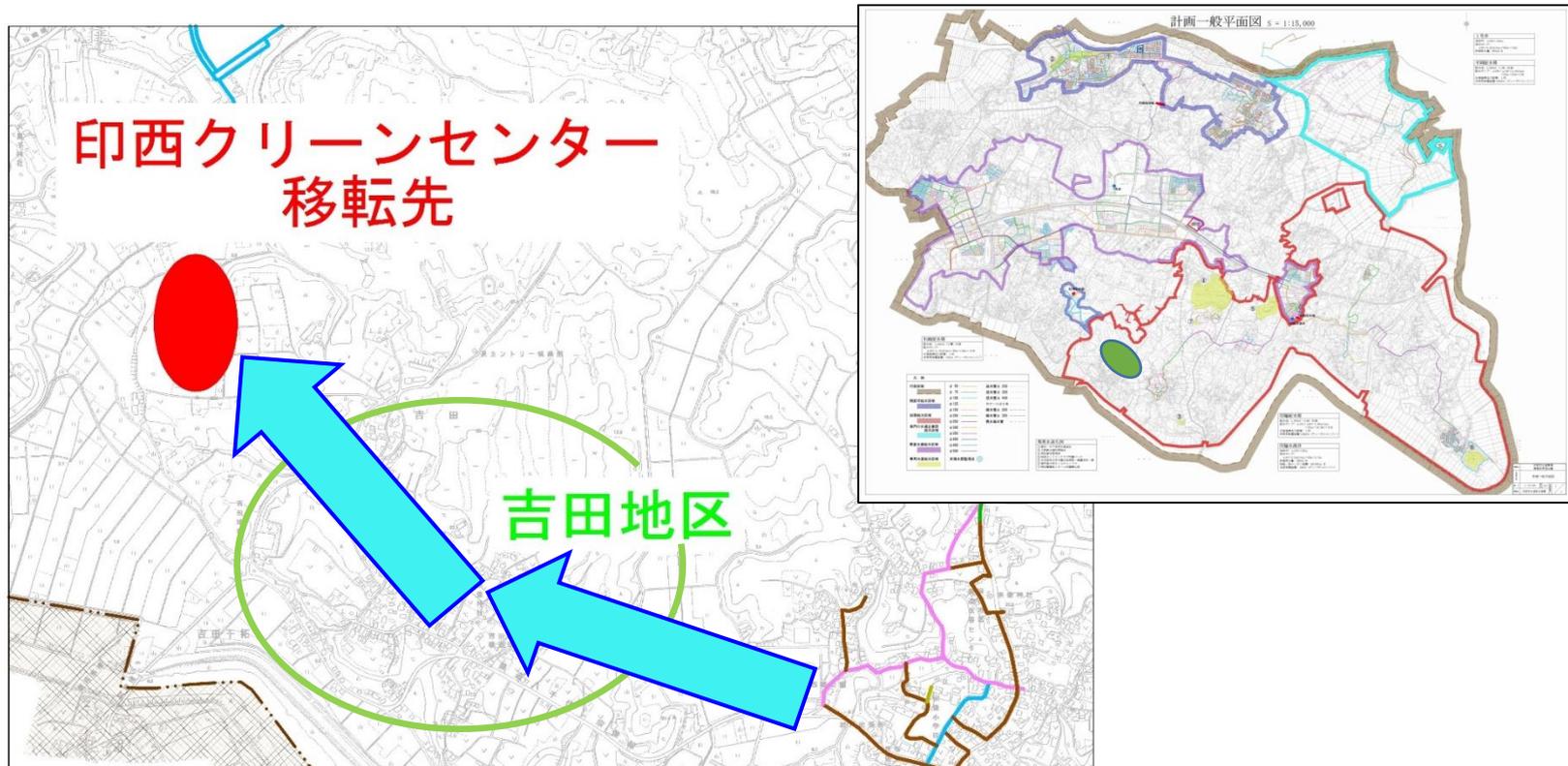
当初は印西中学校周辺と本埜支所周辺地区への配水管整備を見込んでいたが、緊急性、重要度の観点から、これらの地区への配水管整備は先送りにした。

# 1) 投資計画

## ② 施設整備内容(拡張配水管整備)

- 拡張配水管整備 吉田地区

印西クリーンセンターの移転に伴い、未給水となっている吉田地区と印西クリーンセンターへ配水管を整備する。



## 1) 投資計画

### ② 施設整備内容(設備関連)

- 監視設備整備工事

各配水場の遠方監視設備は、旧印西市側と旧印旛村側でシステムが異なっており、印旛配水場については遠方からの監視は行えるが、制御は行えない状態にある。

そのため、旧印西市側と旧印旛村側で遠方監視システムを統一し、各配水場を遠方から監視、制御を行える体制を整える。

- 既設設備更新工事

各配水場の電気、機械、計装設備の更新は、定期的な点検・修繕により長寿命化を図ることを前提として耐用年数を長く見込み、可能な限り長く使用してから更新する。

## 1) 投資計画

### ② 施設整備内容(その他管路工事)

- 吉高台地区配水管更新工事

既に設計が済んでいる吉高台地区の配水管更新工事を見込んでいる。

- 水管橋整備工事

地中に埋設されている管路よりも経年劣化が進みやすい水管橋及び橋梁添架管について、架設年度や管路の重要度を踏まえて、3橋の橋梁添架管の更新を行う。

- 配水管耐震化工事

印西地区の一部に布設されている耐震性能が低い塩化ビニル配水管を耐震性を有するポリエチレン管に更新する。

## 1) 投資計画

### ② 施設整備内容(その他管路工事)

- 吉高台地区配水管更新工事

既に設計が済んでいる吉高台地区の配水管更新工事を見込んでいる。

- 水管橋整備工事

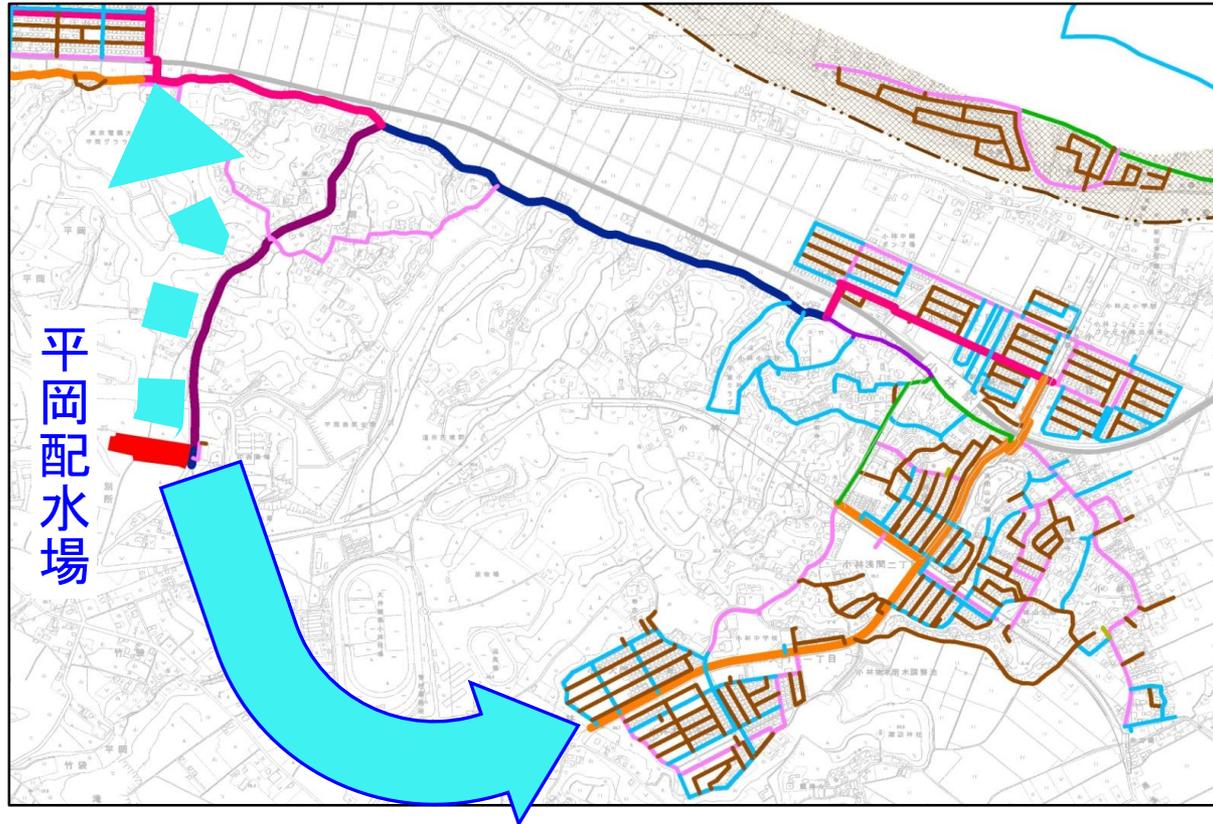
地中に埋設されている管路よりも経年劣化が進みやすい水管橋及び橋梁添架管について、架設年度や管路の重要度を踏まえて、3橋の橋梁添架管の更新を行う。

- 配水管耐震化工事

印西地区の一部に布設されている耐震性能が低い塩化ビニル配水管を耐震性を有するポリエチレン管に更新する。

# 1) 投資計画

## ②施設整備内容(重要給水路線配水管更新)



- 平岡配水場からの配水管をルートを変えて布設する。このとき、適切な口径に減径する。
- 引き続き、木下方面の管についても、適切な口径での更新を、次の計画期間で検討する。

## 2) 財政計画

### ① 収益的収支の見通し

単位:千円

区分		年度	平成27 2015	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031	
収 入	1 料金収入		430,643	460,456	420,439	420,806	423,429	421,905	421,905	421,447	426,462	424,564	424,564	426,488	429,587	435,104	435,746	435,654	436,848	
	2 その他営業収益		1,042	1,100	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	1,432	
	3 市及び県からの補助金		149,144	203,324	205,264	145,508	150,949	150,919	149,932	145,259	138,517	132,302	147,649	144,863	150,159	150,883	148,074	144,642	144,494	
	4 長期前受金戻入		67,006	65,702	64,886	64,886	64,886	64,880	62,380	53,461	52,706	51,873	51,342	32,433	30,066	29,604	27,960	27,004	25,384	
	5 その他の収益		21,940	29,267	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428	32,428
	収入計		669,774	759,849	724,450	665,060	673,125	671,565	668,078	654,028	651,546	642,599	657,415	637,645	643,673	649,452	645,641	641,161	640,586	
的 支 出	1 職員給与費		64,285	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	64,490	27,317	
	2 維持管理費		337,690	400,679	334,198	334,198	334,082	333,919	333,913	333,901	334,148	333,974	333,974	334,016	334,209	334,228	334,246	334,240	334,385	
	3 減価償却費		138,934	145,031	142,856	152,388	154,676	151,473	145,507	131,072	132,833	139,216	141,714	129,609	127,033	126,181	123,603	125,935	126,654	
	4 その他営業支出		78,213	89,319	57,608	57,292	57,295	57,294	57,294	57,293	57,298	57,296	57,296	57,298	57,301	57,307	57,307	57,307	94,481	
	5 支払利息		7,534	6,564	5,931	5,411	4,948	4,490	4,025	3,556	3,082	2,620	2,166	1,722	1,283	865	458	144	75	
	6 その他の支出		8	1	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	
支出計		626,664	706,084	605,480	614,177	615,888	612,064	605,626	590,710	592,249	597,993	600,038	587,533	584,714	583,468	580,502	582,515	583,309		
支	当年度損益		43,110	53,765	118,969	50,883	57,237	59,501	62,451	63,317	59,297	44,606	57,377	50,112	58,959	65,984	65,138	58,646	57,277	
	実際の利益 (損益-長期前受金戻入)		-23,896	-11,937	54,083	-14,003	-7,649	-5,379	72	9,856	6,590	-7,267	6,035	17,679	28,893	36,380	37,178	31,642	31,893	

- 損益は一定程度の水準で確保できる見通しである。
- 現金の裏付けのない収入である長期前受金戻入を除くと、マイナスとなる年度も発生している。  
(留保資金の造成には若干の支障をきたす)

## 2) 財政計画

### ② 資本的収支の見通し

単位:千円

区 分		年度	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13		
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
資 本 的 収 入	1 企業債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2 他会計出資金		35,326	1,153	3,923	35,800	39,648	58,019	58,019	97,142	281,757	190,357	49,627	5,855	114,038	114,038	114,038	108,595	412		
	3 国庫補助金等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 他会計負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計		35,326	1,153	3,923	35,800	39,648	58,019	58,019	97,142	281,757	190,357	49,627	5,855	114,038	114,038	114,038	108,595	412		
収 支 出	1 建設改良費		75,922	84,213	285,272	142,821	58,690	99,625	203,093	201,262	314,236	267,803	227,311	43,073	218,476	125,068	200,357	134,815	387,442		
	2 企業債償還金		30,311	24,135	21,946	20,760	20,737	21,194	21,495	21,964	21,907	21,879	21,856	22,033	21,243	20,896	19,678	3,867	2,437		
	支出計		106,233	108,348	307,219	163,581	79,427	120,819	224,588	223,226	336,143	289,682	249,168	65,106	239,718	145,964	220,034	138,682	389,880		

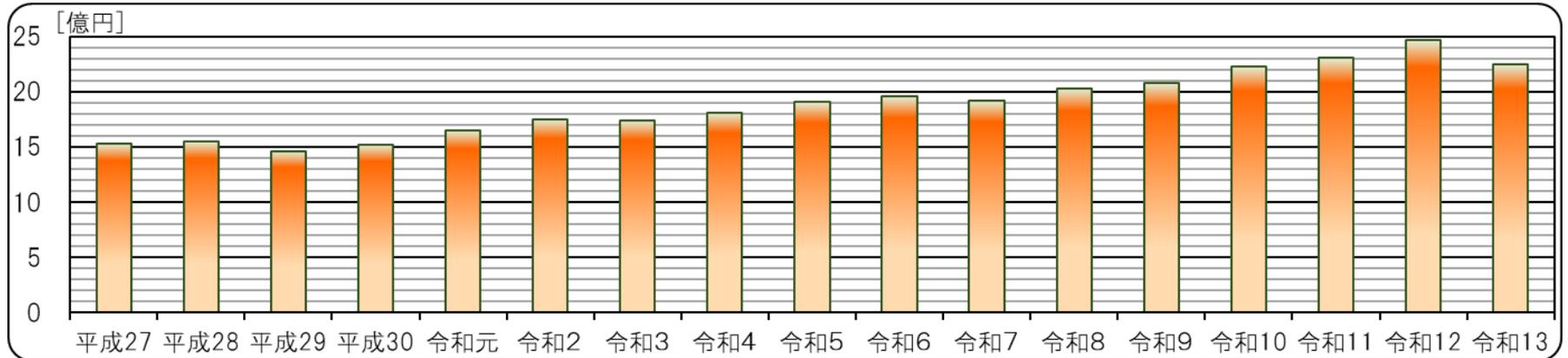
- 企業債、国庫補助金、他会計負担金は見込まない。
- 他会計出資金は繰り入れの基準等により算出
- 建設改良費は、施設整備に係る工事費、委託費、事務費など。
- 企業債償還金は、これまでに発行した企業債の元金償還予定額

議案2. 経営戦略の改定について  
 §2 現経営戦略の概要

3) 資金残高

単位:千円

区分		年度	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
資金	業務活動	1 当年度純利益	43,857	45,959	118,969	50,883	57,237	59,501	62,451	63,317	59,297	44,606	57,377	50,112	58,959	65,984	65,138	58,646	57,277
		2 減価償却費	138,934	145,031	142,856	152,388	154,676	151,473	145,507	131,072	132,833	139,216	141,714	129,609	127,033	126,181	123,603	125,935	126,654
		3 長期前受金戻入額	-67,006	-65,702	-64,886	-64,886	-64,886	-64,880	-62,380	-53,461	-52,706	-51,873	-51,342	-32,433	-30,066	-29,604	-27,960	-27,004	-25,384
		4 その他	-32,873	588	1,591	37,320	-588	340	-0	103	-1,121	424	0	-431	-693	-1,235	-144	20	-266
		業務活動による資金収支	82,911	125,876	198,530	175,705	146,439	146,434	145,579	141,031	138,302	132,373	147,749	146,858	155,233	161,325	160,638	157,598	158,281
残高	施設整備	1 固定資産購入費	-71,008	-78,845	-270,412	-131,092	-37,672	-81,736	-186,712	-150,532	-297,736	-247,516	-214,252	-20,824	-200,968	-103,444	-182,608	-103,444	-374,632
		2 一般会計繰入金	16,032	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		支出計	-54,976	-78,845	-270,412	-131,092	-37,672	-81,736	-186,712	-150,532	-297,736	-247,516	-214,252	-20,824	-200,968	-103,444	-182,608	-103,444	-374,632
高	財務活動	1 企業債償還金	-30,311	-24,135	-21,946	-20,760	-20,737	-21,194	-21,495	-21,964	-21,907	-21,879	-21,856	-22,033	-21,243	-20,896	-19,678	-3,867	-2,437
		2 他会計出資金	35,326	1,153	3,923	35,800	39,648	58,019	58,019	97,142	281,757	190,357	49,627	5,855	114,038	114,038	114,038	108,595	412
		支出計	5,015	-22,982	-18,023	15,040	18,911	36,824	36,523	75,178	259,850	168,478	27,771	-16,179	92,796	93,142	94,361	104,728	-2,026
当年度変動額		32,950	24,049	-89,905	59,653	127,678	101,523	-4,609	65,677	100,416	53,335	-38,731	109,855	47,061	151,024	72,391	158,882	-218,377	
当年度残高		1,527,417	1,547,189	1,457,284	1,516,937	1,644,615	1,746,139	1,741,529	1,807,207	1,907,623	1,960,958	1,922,226	2,032,082	2,079,143	2,230,167	2,302,557	2,461,440	2,243,063	



- 資金残高は順調に増加できるので、当面は借り入れなしでの更新が可能。しかし、今後、大規模な更新が多発する場合、資金不足が懸念される。

## § 3 投資計画の実施状況

# 1) 実施状況

## ① 年次計画表

単位: 千円		工事費	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	実施状況
<b>1. 平岡配水場耐震補強工事</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
1) 着水井築造工事		0						
2) ろ過機設置工事		0						
3) 配水池築造工事		0						
4) 配水ポンプ設備工事		0						
5) RC配水池耐震補強工事		0						
6) 調査委託費		0						
<b>2. 拡張配水管整備</b>		<b>170,100</b>	<b>2,900</b>	<b>31,000</b>	<b>34,600</b>	<b>50,800</b>	<b>50,800</b>	
1) 印西中周辺区域		0						
2) 本埜支所周辺区域		0						
3) 小林新田地区		58,000		31,000	27,000			完了
4) 吉田地区		101,600				50,800	50,800	一部実施
5) 設計委託費		10,500	2,900		7,600			
<b>3. 監視設備整備工事</b>		<b>107,900</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,000</b>	<b>102,900</b>	
1) 集中監視設備増設工事		102,900					102,900	方針変更
2) 設計委託費		5,000				5,000		
<b>4. 既設設備更新工事</b>		<b>192,000</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>900</b>	<b>17,900</b>	<b>23,200</b>	
1) 平岡配水場設備更新工事		168,800	150,000				18,800	完了
2) 印旛配水場設備更新工事		17,000				17,000		一部実施
3) 松崎配水場設備更新工事		0						
4) 設計委託費		6,200			900	900	4,400	
<b>5. その他管路工事</b>		<b>206,300</b>	<b>100,500</b>	<b>90,400</b>	<b>7,900</b>	<b>7,500</b>	<b>0</b>	
1) 吉高台地区配水管更新工事		180,000	100,000	80,000				完了
2) 水管橋整備工事		25,000		10,000	7,500	7,500		未実施
3) 重要給水路線配水管更新工事		0						
4) 配水管耐震化工事		0						
5) 設計委託費		1,300	500	400	400			

- 計画通りに実施した工事もあるが、工事内容を見直したのものもある。

議案2. 経営戦略の改定について  
§3 投資計画の実施状況

1) 実施状況

①年次計画表 計画と実績【追加資料】 単位:千円 上段黒字:計画 下段赤字:実績

単位:千円		工事費	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	実施状況
<b>2. 拡張配水管整備</b>		<b>170,100</b>	<b>2,900</b>	<b>31,000</b>	<b>34,600</b>	<b>50,800</b>	<b>50,800</b>	
		<b>162,634</b>	<b>2,916</b>	<b>25,652</b>	<b>18,213</b>	<b>26,253</b>	<b>89,600</b>	
3)	小林新田地区	58,000		31,000	27,000			H30、R元年度は管布設、R2,3年度は舗装復旧工事
		77,438		25,652	18,213	16,573	17,000	
4)	吉田地区	101,600				50,800	50,800	1年遅れて実施
		50,600				0	50,600	
5)	設計委託費	10,500	2,900		7,600			
		34,596	2,916		0	9,680	22,000	
<b>3. 監視設備整備工事</b>		<b>107,900</b>				<b>5,000</b>	<b>102,900</b>	
		<b>112,206</b>				<b>112,206</b>	<b>0</b>	
1)	集中監視設備増設工事	102,900					102,900	印西地、印旛地区の監視装置の統合
		112,206				112,206	0	印西地区の中央監視制御設備の更新
2)	設計委託費	5,000				5,000		
		0				0		
<b>4. 既設設備更新工事</b>		<b>191,100</b>	<b>150,000</b>			<b>17,900</b>	<b>23,200</b>	
		<b>235,316</b>	<b>139,886</b>	<b>4,482</b>	<b>4,763</b>	<b>4,785</b>	<b>81,400</b>	
1)	平岡配水場設備更新工事	168,800	150,000				18,800	H29自家発更新、R3計装設備更新
		221,286	139,886				81,400	H29自家発更新、R3電気計装設備改良
2)	印旛配水場設備更新工事	17,000				17,000		次亜注入ポンプ及び盤更新
		14,030		4,482	4,763	4,785		配水ポンプ電動機更新(3台)
4)	設計委託費	6,200			900	900	4,400	
		0			0	0	0	
<b>5. その他管路工事</b>		<b>206,300</b>	<b>100,500</b>	<b>90,400</b>	<b>7,900</b>	<b>7,500</b>		
		<b>89,696</b>	<b>53,883</b>	<b>35,813</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
1)	吉高台地区配水管更新工事	180,000	100,000	80,000				完了
		89,393	53,580	35,813				
2)	水管橋整備工事	25,000		10,000	7,500	7,500		未実施
		0		0	0	0		
5)	設計委託費	1,300	500	400	400			
		303	303	0	0			

※令和3年度の実績は見込み

## 1) 実施状況

### ① 平岡配水場耐震補強工事

今年度までに実施を予定している工事はない。

### ② 拡張配水管整備

小林新田地区については計画通りに工事を完了した。

吉田地区については、基本設計により経営戦略策定時から工事内容が変更になった。

整備年次については計画から遅れ、今年度から工事を開始し、令和9(2027)年度に完了する見込み。

## 1) 実施状況

### ③ 監視設備整備工事

監視システムの統合を計画していたが、工事費の高騰と既存の監視システムでもある程度の対応ができ、緊急性は低いことから監視システムの統合は先送りになった。

監視システムの統合の代わりに、既存の印西地区の監視システムの更新を行った。

### ④ 既設設備更新工事

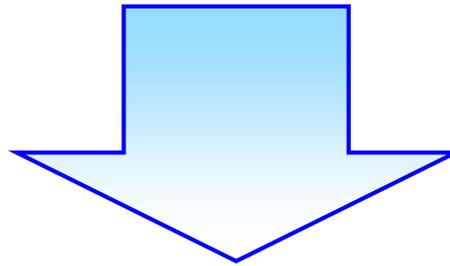
平成29(2017)年度に平岡配水場の自家発電設備など概ね予定していた設備の更新は実施された。

一部の設備については、ほかの設備の故障等、優先される設備更新があったために、更新が先送りになった。

## 1) 実施状況

### ⑤ その他管路工事

吉高台地区の管路更新は計画通りに完了した。



投資計画通りの工事が概ね実施されており、今回の経営戦略改定においては、前回の投資計画を概ね引き継ぐことができる。

ただし、監視システムの統合など一部の整備方針に変更があるため、前回の投資計画を引き継ぎながら、現状に合わせた計画の見直しも必要。

## § 4 今後の予定

## 1) 今後の予定

- 12月 次回審議会で改訂版経営戦略(案)の説明
- 1月 パブリックコメントの実施
- 3月 改訂版経営戦略策定